

世界武徳祭記念 さよならパーティーに参加して

日本古武道 至誠館 渡邊 佳代子

平成二十八年四月三十日、第五回世界武徳祭が閉幕し、ウエスティン都ホテル京都において国際部五百有余名の参加のもと世界武徳祭記念さよならパーティーが和やかに饗されました。

世界武徳祭は、国宝青不動明王青龍殿奉納演武大会にはじまり、京都市旧武徳殿での国際部武道講習会。世界武徳祭開会式ならびに記念祝宴会。世界武徳祭ならびに全国武徳祭。国際錬成大会と様々な記念行事が繰り広げられました。世界武徳祭の開催にあたり英国エリザベス女王陛下をはじめアメリカ合衆国バラク・オバマ大統領、我が日本国から安倍晋三内閣総理大臣と国内外の国賓公賓から多くの御祝辞を賜りました。殊に開会式ならびに本大会において皇室より三笠宮の彬子女王殿下の御臨席を仰ぎ、「武士のこころ、礼の精神をこれからも守り伝えられることを期待しています」とのお言葉を賜り、先人たちが守り繋いできた伝統文化武道を次の世代へ向けて傳承していかねければならないと継承者としての使命を与えられたものと感じました。大会当日、肌寒い日にもかかわらず国際部の演武を御観覧ください、選手たちはこの上ない緊張の中にも日頃の修練の成果を遺憾無く発揮され、生涯忘れ得ざる素晴らしい大会となりました。

世界武徳祭を締めくくるとさよならパーティーでは、開宴に先立ち代表理事濱田鉄心先生より、ご参加いただいた皆様に心からの感謝と御

礼のお言葉が述べられ、開会挨拶に続き、国際部の先生方と共に本部代表として乾杯の発声をさせていただきました。

参加者の表情は一樣に柔らかく、それぞれの胸に達成・充実・満足感に和樂の笑顔が満ち満ちて祝福の慶びを分かち合い、相互理解と友好の絆を深めることが出来ました。

常日頃から日本と海外の架け橋として国際友好と交流に努め、日本の伝統文化武道の普及に尽力いただいた国際部に対し、「加藤清正の兜」をモチーフにした記念品などが贈られ、途中、立命館大学合唱団メディックスによる合唱が賑々しく披露され、会場は拍手と歓喜の声が湧き立ち、祝福の大きな慶びに溢れかえりました。

会場の熱気も最高潮に達する中、濱田鉄心先生による閉会の挨拶、万歳三唱によって四月二十五日から六日間にわたる世界武徳祭は興奮冷めやらぬうちに幕が閉じられました。

この歴史に残る特別な世界武徳祭に参加のお許しをただけましたことに心から感謝申し上げます。また、先生方のあたたかいご指導ご支援をいただき、責務を大過なく務めることができましたことにあらためて厚く御礼申し上げます。

今後もしっかりその精進を重ね、一般社団法人大日本武徳会の発展のために微力ながらも努めてまいります所存でございます。